

レインボー学童クラブ便り

きらきら

レインボー学童クラブ

レインボー第2学童クラブ

2023.7.3



よく遊び、よく学ぶ！

梅雨の合間の晴れた日にはおもいきり外遊びを楽しむ子ども達。顔を真っ赤にしながら走り回ったり虫取りをしたりする姿が見られます。クラブで虫かごを貸し出す量も増えてきており、「この虫なんだろう？」と図鑑で調べてみたり、捕まえた虫を逃がしてしまったり、時には失敗をしながらも目の前のことに夢中になって取り組む姿勢から諦めない力を育てていることを感じています。

室内では自ら宿題に取り組む子が増えつつあり、「今日の宿題これだけ!」「終わったー!」と喜ぶ声もちらほら聞こえてきます。分からない問題には職員や周りのお友達にヒントをもらう場面もあり、みんな助け合いながら頑張っています。

「暑いから水分補給を意識しようね!」と声をかける機会が増えてきました。クラブでは水分補給や休憩時間を取りつつ、子ども達の体調の変化に気を付けながら楽しく過ごしていきたいと思います。これから更に暑くなっていきますので、ご家庭でもお子さんの体調管理をよろしくお願いします。

かんたん工作！

6月は風船に小麦粉を入れて作る「風船スクイズ工作」をしました。「粉が入らないよー!」と手を白くしながら完成させたスクイズ。ギュッと手のひら全体で力強く握ってみたり、グニグニと指先で押してみたり、独特の触り心地を楽しんで子ども達のお気に入りになったようです。

第2学童ではプチ工作として「にじみ絵」を行いました。コーヒーフィルターに水性ペンで絵を描き、霧吹きで水をかけると色がにじんでいきます。その様子を「わ~きれい!」と見つめる子ども達は、「もう1枚やりたい!」と言って次々と個性溢れるにじみ絵を完成させていました。今回はそこに取っ手や顔を付けて傘・てるてる坊主にし、お部屋の壁面に飾っています。作品は室内で飾れるようにしていますので、お家に持ち帰った際は少しの間だけでもご家庭でも飾ってあげてください。今月もプチ工作を予定しているので楽しみにしてくれたら嬉しいです。



楽しかった遠足

県民の日の遠足で茨城県自然博物館に行き、館内では宇宙や地球のこと、自然や生命のしくみなど、身近だけど普段考えたりしないような事柄に触れることができました。恐竜のジオラマに出会うと「うおー!かっこいい!」と立ち尽くし、自然コーナーでは「本物の魚がいる!見に行こう!」と水槽を嬉々として見つめていました。遠足のしおりに載っていたマンモスの骨・宇宙飛行士・巨大キノコを見つけては「あった!」と大喜び。見つけれなくてモヤモヤしている子がいると、「こっちにあったよ!一緒に行こう!」と教える姿もあり微笑ましく思いました。

館内見学の後には外で昼食、芝生遊びを楽しむこともできました。トランポリンでぴよんぴよんと飛び跳ね続けてたっぷりと汗をかいた後、水分補給をしてひと休み…かと思いきや、レジャーシートを上手にを使って山滑りを始めました。「もう遊ぶことない」とつぶやいていた子も「面白い!」「もう一回やる!」と笑顔が弾けていました。「こうすると良いよ!」「引っ張ってあげる!」などお友達と楽しい時間を共有し、子ども達の仲も深まったようです。

当日は朝の送迎や遠足に向けての準備などご協力ありがとうございました。夏休み期間もイベントを計画しておりますので、ぜひ、思い出に残る夏休みにしていきましょう!

7月の予定

連絡・お願い

17日(月) 海の日

20日(木) 小学校終業式

25日(火) お誕生日会

27日(木) 遠足

28日(金) 防災訓練

～帽子を被ります～

外遊びをする際に熱中症対策の観点から帽子を着用しますので、必ずご準備ください。また、帽子はクラブに置いておいても構いませんが、週末には持ち帰りますので、週明けに持参してください。

～面談ありがとうございました～

保護者面談にご協力いただいた皆様、お忙しい中ありがとうございました。皆様にとって気になる事、お子様の様子の新発見などありましたでしょうか。普段なかなかお話をする機会の無い保護者様ともお話をすることができ、有意義な時間となりました。何か気になる事、あの時話せなかった事などありましたら、お声がけいただければと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

コラム:本選びのポイント!!

前回、音読について取り上げたところ「勉強になりました」との声をいただきました。お読みいただきありがとうございます。子ども達は夏休みにもまもなく突入とのことで読書するには良い期間となります。今回は『読書』についてお話をさせていただきます。

子どもが本を読むことの大切さは誰もが口にしますが、実際は「本読むの嫌い!」「本読むのめんどくさい」などの声が聞こえてきます。子どもは本当に本が嫌いなのでしょうか?

私は読書が嫌いなのではなく、『今まで自分に“ぴったり”の楽しい本と出会いがなかっただけ』ではないかなと思います。本には登場人物達の喜びや悲しみに触れることを通して体験(疑似体験)をする力があり、体験というのは子どもにとって楽しいものであるからです。

“ぴったり”の本と出会うためには、当然、出会いの場である図書館や本屋に行くことが大切です。表紙のデザインなど「おもしろそう!」というお子さんの印象を大事にしてあげると良いでしょう。自分で本を選ぶのに困ったら、子どもの発達に応じた本を勧めてみてください。小学生の読書スキルには段階があると言われています。夏休みに入れば、子ども達は家やクラブで過ごす時間がたっぷりできますので、下記を参考にしてみてください。夏休み前に図書館や本屋さんに行くことをおすすめします。

《小学生の読書スキル》

①読み聞かせ → ②ひとりで本を読めるようになる → ③絵本から物語へ →

④たくさんの本を読む → ⑤シリーズもの → ⑥物語だけでなく自然科学や社会科学の本

今田 康介